TAKE FREE

ファーレ タチカワ

もっと身近に アートのあるまちへ出かけよう

立川アート散歩

別冊 #Tag magazine

Feel the Art
VOL.2

立川アート散歩

Feel the Art
VOL.2

もっと身近に
アートのあるまちへ出かけよう

立川は、まち全体が美術館！
小さなものから大きなものまで
まちのあちこちに
散りばめられたアートたち。
道の傍らに佇む動物や人が
いるかと思えば
ベンチや照明、車止めから
排気口や駐輪場のサインまで
これもアートだったのか！
と驚くような楽しさのあるまち。
立川に住む人、通う人
遊びに来る人たちが
知らず知らずのうちにアートに触れ
アートとともに暮らしています。
思いがけない場所にアートを見つけて
触ってみたり、写真を撮ったり。
探しながら歩く楽しさを覚えると
目に見えるものすべてが
アートに見えてくるかも。
まちへ出たら
もっと身近に！
感じるままに！
アートに触れてみませんか。

＃Tag magazine とは

立川市の魅力的なヒト、モノ、コトに付箋を貼るようにピックアップ。通いたくなるまちを応援するフリーマガジン。「まち全体が美術館」というコンセプトを＃Tag magazineの読者にももっと知ってもらうため、別冊ではファーレ立川アートを中心としたヒト、モノ、コトを深掘りして紹介します。

ファーレ立川アートとは

立川駅の北側「ファーレ立川」地区に点在する、36か国92人の作家による109作品のパブリックアート。それぞれの作品はアートとしてだけではなく、ベンチや街灯、換気塔など都市機能を持つ。立川市の米軍基地跡地再開発事業の一貫として、アートディレクター・北川フラム氏のディレクションのもと1994年に完成し、現在まで約30年間、地域の人々に愛され維持され続けている。ファーレは「FARE（創造）」というイタリア語に立川の“T”をつけた造語。

INDEX

1 …… アプリ片手にアート散歩
4 …… アートが人と人をつなぐ
6 …… アート散歩の途中でほっと一息 Cafe&Restaurant
8 …… ARTMAP and INFORMATION

アニマルハント編

Art de Linkコーデ！

ℹ作品番号22／ナディム・カラム／MAP P8→No.1

古代と現代が一緒になったようなメルヘンな世界を影絵で表現しています。

アプリ片手にアート散歩

さあ、ファーレ立川アートナビをダウンロードしてお散歩スタート!!
アプリのおすすめツアーの中から
まずは「アニマルハント」編。
こんなところに動物たちが
隠れていたなんて！
思わずパシャリと撮りたくなる
アートたちをお楽しみください。

立川アート散歩VOL.2では、もっと身近にアートを楽しんでもらえるよう「ファーレ立川アートナビ」アプリを紹介。「アニマルハント」編、「五感で楽しもう」編、「光のアート」編の中から見つけて楽しい、撮っても楽しいアートを厳選しました。アートが思い出に変わる瞬間を写真に残し、InstagramなどSNS（ハッシュタグ：＃ファーレ立川アート）で投稿してください。

乗馬スタイルで英国風に

ℹ作品番号27／ゲオルギー・チャプカノフ／MAP P8→No.4

作家が立川の鉄屑屋さんを周り、農機具の残骸を加工して動物をつくりました。尖った機械で動物の動きのある曲線を見事に再現しています。

上からそっと覗いてみる？

ℹ作品番号53／依田久仁夫＋エステル・アルバルダネ／MAP P8→No.2

ベンチの隅で女性と犬が会話しているよう。女性はエステル・アルバルダネの〈タチカワの女たち〉シリーズの一つ。

変化を楽しむ足元にアートを感じて

ℹ作品番号 8／長澤伸穂／トンボヒコーキのメッセージ／MAP P8→No.3

作家の幼い頃の記憶の中のトンボと、日本で最初の飛行場があり、米軍基地でもあった立川の歴史と組み合わせ、飛行機とトンボが互いに変化していく姿をツリーサークルの中に残しました。

さっそくダウンロード！

iOS

Android

「ファーレ立川アートナビ」って？

ファーレ立川アートの109作品の音声ガイドやツアー機能を兼ね備えた無料ナビゲーションアプリです。日本語、英語、中国語、韓国語に対応しています。

「五感で楽しもう」編

目で見るだけではなく、音を聴いたり肌で感じたりできるのもファーレ立川アートの特徴です。風を感じ、鳥の声やまちの音に耳を澄ましながら大好きなあの人とまちを歩いてみませんか。

身だしなみチェック完了！

ℹ作品番号100／陰里寿朗／MAP P8→No.6

この車止めの作品の歩道側には「止まれ」（自分を見つめ直して）、車道側には「進め」（ここは駐車禁止）の点字ブロックが。道ゆく人が立ち止まり自分を見る鏡。さまざまな人が行き交うまちでアート作品が私たちを見つめています。

久々に会う友人と待ち合わせ！風を感じてお喋りに夢中

ℹ作品番号61／アレシュ・ヴェゼリー／ダブルベンチ／MAP P8→No.5

ヴェゼリーは石や鉄などの力強いものの衝突を表現する作家です。ディテールを100回は考え直したという、試行錯誤の末生まれた作品。バネの入った楽しいブランコ型のベンチをつくりました。気の合う友人との会話も弾みます。

あの人と聴くまちの音

気がついた？影を重ねてみて

ℹ作品番号20／牛島達治／古典的な交信機器、伝声管／MAP P8→No.8

土を耕すためにただ回り続ける機械や石をひくだけの機械などに、精神のふるえがあるという作家。この伝声管は、「風の音は何色？」と聞いています。

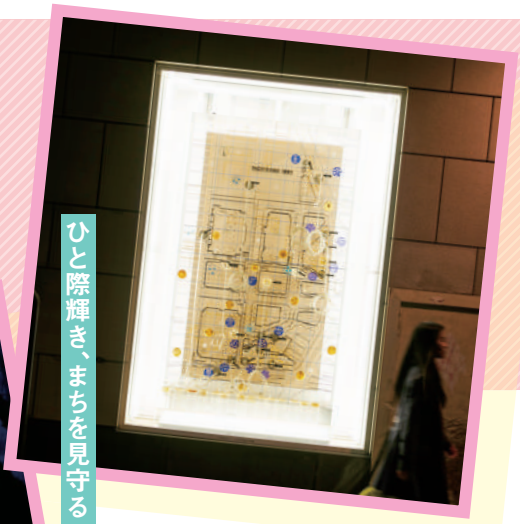
ℹ作品番号43／ホセイン・ヴァラマネシュ／きみはただここにすわっていて。ぼくが見張っていてあげるから／MAP P8→No.7

日常の空間の中に思いもかけない空間を生み出す作家が、自分が使っている椅子と本を車止めに、自分の影を歩道にすりこませました。作家自身の日常がまちの中に突如現れる作品です。上から見ると影がくっきりわかります。

「光のアート」編

「光のアート」編ではまちのネオンや案内板がアートになっている作品を紹介します。夜のまちは、アートが放つ光によって彩られ、優しく見守られています。そんな一瞬、一瞬を楽しんでみてください。

夜なのに青空!? 上を向いてごきげんに



ひと際輝き、まちを見守る

ℹ作品番号74／山口啓介／Tachikawa Box／MAP P8→No.9

この案内板は3重になっており、1層目は1994年当時のファーレ立川、2層目は1989年開発前のまちの様子、最後の地下層には昔生えていた植物のプレパラートがこのまちの歴史と記憶を伝えています。

ℹ作品番号60／イーエフペー／MAP P8→No.10

イーエフペーは、アートは作家に属するものではないという考えを持つ3人の作家によるグループです。夜の闇にあって、青空に雲が浮いている街灯は視覚的な美しさと空間との調和を追求しています。

夜に駆ける

ℹ作品番号71／ロバート・ラウシェンバーグ／自転車もどきVI／MAP P8→No.11

作家が普段乗っている自転車にネオンをつけたオブジェが、駐輪場のサインになっています。通りを明るく照らし、まちの人の安全を守っているかのような作品です。

#ファーレ立川アート

#Tagmagazine

アートが人と人をつなぐ

File 01

アートでまちを語る
赤川BONZE（ボンズ）政由さん

アトリエその子 ふ・ら・り
☎090-2564-3198（塩見）
住 立川市富士見町1-29-3
交 JR西立川駅南口徒歩5分
営 OPEN 土・日曜13:00〜17:00
※ほかの曜日・時間帯も応相談
MAP P8→No.12

立川を歩くとあちこちで見かける、銅板でつくられた作品。説明がなくても、その作風から「きっと同じ作家だ」と一目で気がつく。生みの親は、赤川BONZE（ボンズ）政由さん。代表作は、立川市制50周年を記念した「大きなケヤキとカワセミとセロ弾き」。制作過程には、赤川さんが作品に込める思いを象徴するようなエピソードがある。

「九州から上京して立川のケヤキ並木を見た時、美しい風景に感動しました。切り株に座ったセロ弾きが奏でているのは、やむなく伐採されてしまった木々へのレクイエムです」

カワセミが止まっている小さな水辺は、スペインを訪れた赤川さんが「立川にもあったらいいな」と感じた噴水がモチーフ。ほとんどの作品をあえて野外に展示し、周囲の環境との調和を大切にしている赤川さん。立川との縁は、高松町に工房を構えたことだ。

「米軍ハウスの制作環境が素晴らしいと噂に聞いて、都心の美術研究所を出たあと引っ越してきました。多くの芸術家が集まっていて、あの場所がなかったら今がないと思うほど、自由な発想を育んでくれたと思います」

若手の育成にも強い思いを抱いている。これまで10名ほどの弟子が、この工房から巣立っていった。

「まちに芸術家がいるって、すごく大切なこと。子どもに限らず、本物の作品に触れたり職業として知るのはもちろん、私たちは昼間まちにいるので、例えば災害時などにも力を発揮できますしね。廃校を活用した自由工房なんかをつくれたらすごくいいなと思います」

赤川さんの作品には、立川で育つ子どもたちの未来への思いが込められている。

「まちの風景が変わっても、いつもそこにあるものって、人の心を安定させる効果があると思います。芸術には、山や川のようにそういう役割があるのではないかなと。『ファーレ立川アート』には、ニキ・ド・サンファルなど、日本でも親しまれている作家や、国内でもなかなか見られない作家の作品があって素晴らしい。野外展示として世界に誇れる立川の財産です。世界中の人が再び見に来てくれる日が待ち遠しいですよね。市民や近くに暮らす人も、芸術を堪能する機会を立川のまちでつかんでほしいなと思います」

この日、お話を聞いたのは富士見町にある“メモリアルギャラリー”。妻でアーティストのさとうそのこさんが2019年にがんで他界したあと、オープンした。そのこさんの代表作でもある「その子人形」や絵本の挿絵をはじめ、立体・平面を問わない数々の作品の温かな色彩があふれている。まちを歩いて作品を探してみたり、ギャラリーを訪れて心ほぐれる瞬間を感じてみたり。立川では、毎日見る風景にたくさんの魅力が隠れている。

大きなケヤキとカワセミとセロ弾き／1998年／立川市幸学習館入口
MAP P8外

風に向かって／2001年／立川駅北口ペデストリアンデッキ
かつて日本の空の都であった立川の歴史と、模型飛行機を飛ばす少年の自由に空を羽ばたいてみたい心を表している。MAP P8→No.30

南の風が吹く頃／2013年／立川駅南口駅前広場
童話「幸福な王子」をベースに、燕から異国の話を聞いて胸を躍らせる少女を通して、人生のよき船出を祈っている。MAP P8→No.29

Profile
赤川BONZE（ボンズ）政由
大分県出身。東京目黒・鷹美術研究所にてデッサン・油絵・銅板画を学んだのち、1974年から高松町の米軍ハウスにアトリエ「BONZE工房」を構える。作品は北海道から九州まで全国に展示中。市内では、モニュメントや店舗看板などとして多数見ることができる。

立川市で暮らす人、働く人にとって
ファーレ立川アートがどんな存在なのかを、
一番好きなファーレ作品の前で
お話してもらいました。

「まち全体が美術館」。立川市のまちづくりには、そんな構想が掲げられています。「文化とやさしさ」のあるまちを目指して、閉じられた建物の中ではなく、人々の行き交う場所に散りばめられたアート。まちとアートを熱い思いで見つめる方々に会いに行きました。

File 03 立川のパワースポット

サンデー・ジャック・アクパン／MAP P8→No.13

高島屋立川店 営業推進部
宇田川駿さん

2020年から立川店に配属されたという宇田川さん。ナイジェリアの首長たちが勢揃いする作品の前でお話いただきました。「表情に迫力があり、パワーが感じられる作品なので、気持ちが明るくなります。アートツアーの様子をよく見かけますが、多世代の人にアートに触れてもらう機会をつくるのはとても良い取り組みですね。心に残るアートがそのまちの思い出になる瞬間を味わってもらいたいです」

File 02 まちの記憶に溶け込んでいる

ジャン＝ピエール・レイノー／MAP P8→No.20

立川観光協会会長
岩﨑太郎さん

「ファーレ立川アートができた頃、駅周辺では区画整理事業が進んでいて、町内会の夏祭り会場を探していました。そんな時に会場として貸してもらった場所が『赤い植木鉢』の前のスペースでした。音楽イベントやお神輿を担いだ思い出が今でも蘇ります」と当時を振り返ってくれました。「作家さん、寄付された方、市民それぞれの思いが込められた作品がまちを見守っているのがいいですね。これらの作品を次世代へ受け継いでいきたいです」

File 05 まちの機能とゆるやかにつながるアート

ドナルド・ジャッド／MAP P8→No.17

たましん美術館 学芸員インターン
佐藤菜々子さん

武蔵野美術大学芸術文化学科を卒業し、現在たましん美術館でインターンとして働く佐藤さん。大学では近現代美術史を学び、ジャッドの遺作でもあるこの作品に興味があったといいます。「作品が置かれている場所にも責任を持たないといけない、という作家の考え方が伝わってくる作品です。ファーレ立川アートはまちなかにあり、美術館の展示室などとは異なる楽しみ方ができるのが魅力ですね」＊たましん美術館（MAP P8→No.18）

File 04 まちなかのポップアート

クレス・オルデンバーグ／MAP P8→No.15

PLAY! 広報
金子さえさん

「小さなものを大きく作品にし、グラフィック的な要素を持たせる、オルデンバーグの作品が好き」だという金子さん。「違和感があるけれどユーモラスな面白さがまちなかで見られるのが立川の良さですね。ファーレ立川アートは作品の多さにまず驚きました。海外の有名な作家の作品もあるので、もっと多くの人に見てもらいたい。ファーレ立川アートを楽しんでPLAY! にも立ち寄ってほしいです」＊PLAY! （MAP P8→No.16）

File 07 アートと遊ぶ楽しみ

岡崎乾二郎／MAP P8→No.19

一橋大学大学院
山根理乃さん

一橋大学大学院社会学研究科で、観光やアートがまちにどんな影響を与えるのかといったまちづくりについて学ぶ山根さん。「109作品の全点ツアーに参加しました。鳥かごをモチーフにしたこの作品の説明を聞いていた時、本当に鳥がかごの中に入ったんです！あっという間の3時間でしたね。ファーレ立川アートは日常の中でまちを彩っています。ベンチに座ったり、車止め前で写真を撮ったりとまずは遊んでみてほしいです」

File 06 通学路がアートストリート

タン・ダ・ウ／MAP P8→No.14

立川女子高等学校 美術部
部長 **道家彩愛さん**
副部長 **田中愛美さん**

「私たちの通学路にあって、毎日必ず見ていたので親しみのある作品の一つです」と部長の道家さん。換気口の上に作品があることを知って、さらに驚いたといいます。2021年に創立97周年を迎えた歴史ある高校の美術部である2人は現在、卒業制作に向けて活動中だそう。「コロナ禍で作品展などを開催できなかったけれど、最後の作品は多くの人に見てもらいたいです」と副部長の田中さんは元気に話してくれました。

アート散歩の途中で〈ほっ〉と一息

Cafe&Restaurant

ファーレでお散歩を楽しんだら、余韻をそのままにランチやディナーはいかがでしょうか。
立川市内の人気店からオリジナルコラボメニューが誕生しました！
まちに溶け込むアートをそのままに、コラボメニューはこの時期だけの期間限定。
他にも魅力あふれるレストランやカフェを紹介します。

コラボメニュー その1

MAP P8→No.22

ビストロサイトウ

オーナーシェフの齋藤直樹さん

海の幸のサラダ
立川アートKAIWA
1,400円［販売期間3月1日～3月31日］

ファーレ立川アートの中でもニキ・ド・サンファルの「会話」が好きだと話すオーナーシェフの齋藤さん。アサリは蛇の顔をそのままに、ホタテがベンチとなり立体感のあるオードブルに。季節の野菜も加わって彩りの美しさを表現しました。大好きな人との会話も弾む一品です。

☎042-512-8711 住立川市緑町3-1 E1棟 203 交JR立川駅北口徒歩7分 営11:00-15:00/15:00-16:45/17:00-21:00 休火 曜 URL https://greensprings.jp/shop/bistro_saito/ SNS@bistrosaito MAP P8→No.21

Adam's Awesome Pie

クッキーを考案した矢島博子さんとオーナーの根津祐太郎さん

MAP P8→No.25

コラボメニュー その3

ファーレグラスクッキー
380円［販売期間3月1日～3月31日］

ジョナサン・ボロフスキーの「ブリーフケースをもった男」がクッキーになりました。考案したのは立川市にお住まいの矢島博子さん。まちなかのアートがお菓子になったら面白そう！と考案。Adam's Awesome Pieさんのパイ生地と飴細工でつくりました。ファーレ・チョコレートパイ（580円）と併せて販売予定。（～3月27日の土日祝のみ）

☎042-595-8375 住立川市緑町4-5壽屋ビル201 営11:30-22:00（LO21:00） 交JR立川駅北口徒歩5分 休不定休 SNS @adams_awesomepie MAP P8→No.24

パレスホテル立川

パレスホテルの人気コラボメニュー「赤い植木鉢」が復活メニューとして登場します。3種の果肉入りソースを閉じこめた、チョコとストロベリー2層のムースです。

☎042-527-1111 住立川市曙町2-40-15 交JR立川駅北口徒歩3分 営ケーキを販売するサロンドゥカフェは11:00-18:00 休無休 URL https://www.palace-t.co.jp/cafe.html SNS @palacehoteltachikawa MAP P8→No.23

ミュージアム・アート 540円
［販売期間3月1日～3月31日］

コラボメニュー その2

MAP P8→No.20

＊価格はすべて税込です。営業時間については、各店舗にお問い合わせください。

More! Pick Up Shop

季節のおすすめコース10品・7品より
肉料理から茨城西崎ファーム
かすみ鴨舞茸 帆立貝
コース料理は5,500円〜

TEPATOMOKA

ワインとともにコース料理をメインに楽しめるお店。茨城県西崎ファームのかすみ鴨は無農薬飼料と放し飼いで育った国産鴨。ジュドカナールという鴨の出汁と香味野菜をじっくり煮込んだソースも、一つひとつの作業に丁寧さを感じます。コース料理をゆっくり楽しみたい方にはおすすめのお店です。来店の際はぜひ予約を。

☎042-512-7420 住立川市高松町3-14-13ボヌール立川1F 交JR立川駅北口徒歩7分 営11:00-15:00/17:00-22:00 休月曜 URLhttps://social-epice.com/tepatomoka/top/ SNS@tepatomoka_pate_et_canard MAP P8→No.26

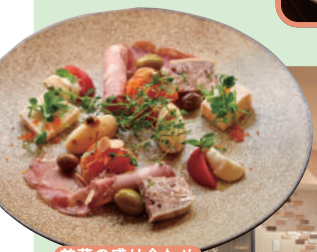
LEMON TREE CAFE

(The Lemon Tree English school &café)

立川の旧米軍ハウス「X-area」内にある英会話スクール&カフェ。オーナーのコリンズさんは、住んでいるまちのコミュニティに貢献したいと、2019年5月にこの場所をオープン。赤川政由さんの工房が「X-area」内ということもあり、店内には赤川さんの作品や弟子のMABOさんの作品が並ぶ、アートギャラリーのような空間です。メニューはパウンドケーキやスコーンなどがおすすめ。

☎042-842-4393 住立川市高松町1-20-7 交多摩モノレール高松駅徒歩4分 営金・土曜（詳細はHPで確認） MAIL info@lemontree-eikaiwa.com Instagram @lemontree_tachikawa MAP P8→No.27

ハーブ&
パルメザンチーズの
スコーン 200円



前菜の盛り合わせ
1,200円〜

Osteria time

駅近なのに喧騒を感じさせない、落ち着いた雰囲気のあるお店。「お料理もお客様も一期一会」と話すオーナーの小林さん。200種類以上のワインからはお料理に合わせたペアリングを楽しめるのはもちろん、注文された前菜と付け合わせの素材が被らないよう、また好みのワインに合わせたソースにしてくれる細やかさが嬉しい。

☎042-512-5886 住立川市曙町1-27-4 ルーグラン立川1F 交JR立川駅北口徒歩6分 営11:00-15:00（LO14:00）/17:00-23:00（LO22:00） 休月曜 URL https://www.osteria-time.com/ Instagram @osteriatime2017 MAP P8→No.28

#Tag magazine ART MAP

INFORMATION

『立川アート散歩VOL.2』ではアプリ（ファーレ立川アートナビ）を使ったおすすめ“散歩コース”を
３つご紹介しました。そのほかにも全15種類の推奨ルートを掲載中。
順番にはこだわらず、自分好みのルートを見つけて楽しんでみて。
イベントや最新情報はHP・SNSからチェックしてください。

FOLLOW US!

HP
https://www.faretart.jp/

Instagram
https://www.instagram.com/farettachikawaart/

Facebook
https://www.facebook.com/faretart/

ORIGINAL GOODS

チケットホルダー
330円
（20.5㎝×10㎝）
バッグの中でも見失わないカラフルなデザイン

ファーレTシャツ
3,300円（S・M・L）
胸ポケットのロゴマークがさりげない

ファーレ
トートバッグ
2,200円
（42㎝×42㎝）白・黒の２色展開。大きめサイズで使いやすさ◎

クリアファイル
（A4サイズ）
275円
鮮やかなファーレロゴマークカラーがかわいい

ここで買える！
ファーレ立川アート管理委員会事務局またはたましん美術館で販売しています。
在庫状況はお問い合わせください。
042-523-2111（立川市産業文化スポーツ部地域文化課内）
042-526-7788（たましん美術館　MAP P8→No.18）

気軽に参加！アートツアー

1997年に結成されたボランティアグループ「ファーレ倶楽部」の解説付きでファーレ立川アートを巡るツアー。「ファーレ倶楽部」は、アート清掃やワークショップなども開催し、多くの人に“アートのまちの楽しさ”を届ける活動を行っています。

ツアーのお申込みはこちらから　https://www.faretclub1997.net

#Tag magazine

くらいが、一番いい

【発行】ファーレ立川アート管理委員会
事務局 Tel:042-523-2111（立川市産業文化スポーツ部地域文化課内）
【制作】けやき出版　Tel:042-525-9909　【編集】けやき出版　國廣愛佳
【デザイン】寺尾友里　【写真】鈴木穣蔵　【モデル】岡崎未侑・岡崎礼実
©2022 Tachikawa City

本書の無断転載・複製・複写（コピー）、翻訳を禁じます。本書を代行業者などの第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用であっても、著作権法上、認められておりません。誌面に記載されている商品の価格は、表記がある場合をのぞきすべて税込価格です。原則としてGW、お盆、年末年始をのぞく定休日を記載しています。掲載している情報は2022年1月現在のものです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各施設・店舗の営業時間が変更になる場合があります。各掲載先にお問い合わせください。

#Tag magazine

別冊 #Tag magazine
2022.2発行　発行人:ファーレ立川アート管理委員会　制作:けやき出版　TAKE FREE

TAKE FREE

Catch the fun!

#Tag magazine